転機の掴み方
横浜栄共済病院 脳神経外科
森 健太郎

私のキャリアパス

私は大学医局に所属せず学位も取得していない立場ですので、どこまで皆さんの参考になるか分かりませんが、自身のキャリアにおける転機についてお話しさせていただきます。

2006 年に聖マリアンナ医大卒業、横浜市大での初期研修の後、現在の横浜栄共済病院・脳神経外科に入職し、現在に至っております（2027 年には入職 20 周年を迎え、何か記念品がもらえる予定)。現部長の野村素弘先生をはじめ良い上司や同僚、スタッフ、設備、適度な症例数など非常に恵まれた環境の中で、日々幸せな環境で働かせていただいています。その中で、脳血管内治療医としてのキャリアを歩み始めるきっかけとなった 3 つの転機がありました。

・第一の転機：虎の門病院での研修

2010 年、脳外科医として 3 年が経ち他施設のやり方なども気になり始めた頃、共済組合内の国内留学制度の存在を知りました。当時は独身で身軽だったこともあり、特に深く考えることなく虎の門病院・脳神経血管内治療科での研修を申し込みました。そこで恩師である松丸祐司先生と出会い、大きな衝撃を受けました。2010 年と 2013 年に 2 度の研修期間をいただき、鶴田和太郎先生、早川幹人先生、神谷雄己先生、佐藤允之先生、天野達雄先生といった錚々たる先輩方の元で修行を受けました。それまでの自分にはなかった思考の組み立て方、判断の根拠、治療への向き合い方などを植え付けていただき、脳血管内治療医としてだけでなく人としての在り方までもが大きく転換した経験でした。

・第二の転機：早期の独り立ち

その後自施設に戻ってすぐ、血管内治療を主に一人で担っていかなくてはならない時期を迎えます。経験も浅い時期で不安は大きかったものの、その状況が覚悟を生みました。多くの方にサポートいただきなんとか乗り越えられましたが、その時期に虎の門での学びを臨床で実践するということを繰り返し、血管内治療医として確実に強くなった気がします。

・第三の転機：キッティポン先生との出会い

虎の門の先輩方から対外発信を続けることの重要性も学び、「学会や研究会に演題を出し続けること」「参加した会では必ず一つは質問や発言をすること」を自らノルマとして課していた時期がありました。2017 年、神奈川のとある小さな研究会で症例報告の発表をした際に、キッティポン・スィーワッタナクン先生が声をかけてくださいました。スライドのイラストを褒めていただき、そこからイラストや血管解剖の話で意気投合し交流が始まりました。その縁が、現在も続く多くの先生方とのつながりへ発展していきました。小さなきっかけから、世界が大きく拡がった感覚がありました。キッティポン先生は亡くなられましたが、その精神は多くの方々に受け継がれており、私もその一端を後輩へ繋いでいきたいと思っています。

この 3 つの転機のうち一つでも欠ければ、今の自分はないと思います。それらは自然に降ってきたような気もしますし、自ら掴んだような気もします。今後自分のキャリアがどうなっていくかはまだ曖昧ですが、4 つ目の転機の到来には常に敏感にいたいと思っています。

今後の抱負、会員へのメッセージなど

若手の先生へのメッセージとして、次の 3 点をお伝えしたいと思います。

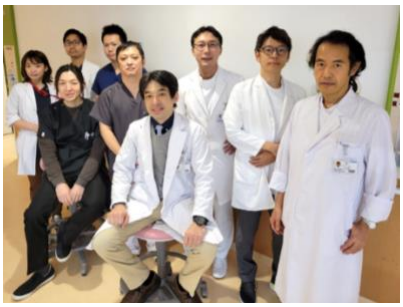
・転換：目の前に転がってきたチャンスには、とりあえずそれに乗っかってみることをお勧めします。最初から完璧な準備は必要ありません。小さなきっかけで人生は大きく変わります。

・強化：いずれ訪れる独り立ちは、ピンチのようでチャンスです。それまでに学んできたことを愚直に繰り返して、臨床の中で自分の軸を形成していくことが重要です。その過程で少しずつ自分のアイデアやオリジナリティが芽生えてきます。

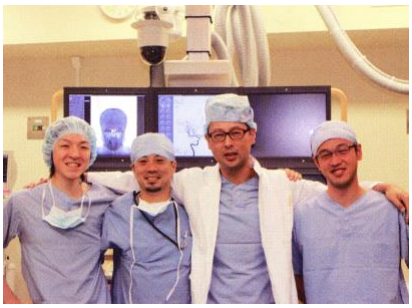
・拡充：日常臨床で生まれたものを外に発信し続けることも重要です。知識の整理や客観視ができ、新しい発想が生まれ、臨床へも還元されます。また、人との繋がりが生まれ、世界が拡がります。

私も元々引っ込み思案で社交性も高い方ではありません。しかし、ちょっと無理して一歩踏み出してみること、小さなチャレンジを繰り返していくことで少しずつ道が拓けてきました。また、一生を通じてのライフワークバランスは重要ですが、ある程度それを無視して働いて働いて働いていくフェーズもあって良いと思います。数多くないチャンスを掴むためには、それを見逃さない嗅覚と瞬発力、乗っかった時の集中力と行動力は不可欠です。年齢を重ねるごとに色々な面で動きづらい環境になってくるとので、若くて動けるうちの自己投資は必ず後で財産になります。

様々なバックグラウンドを持つ先生方が、それぞれの転機を掴み、唯一無二のキャリアを築いていかれることを願っています。



栄共済病院の仲間



虎の門病院での研修

キッティポン先生との繋がり